

# 視点

## 東日本大震災と幼児教育

大桃 伸一



園長はじめ教職員がそうした判断力をどのようにして身につけていくかが課題です。災害時には、家庭や地域の人々の協力も欠かせません。大震災を契機に、幼稚園は家庭や地域との連携のあり方を見直していく必要があります。

二〇一一年は、決して忘れられない年になります。東日本大震災で犠牲になられた人々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

「Awed by a nation's quiet dignity (静かなる威厳)」、これは大震災直

後の日本国民を称賛したシンガポールの新聞の見出しです。筆舌に尽くし難い大震災に遭遇しても冷静さを失わず、秩序正しく懸命に生きていく被災地の方々をはじめとした日本国民を、世界の人々は驚きと畏敬の念を持ってみました。

近年のわが国では、マスコミを中心に「教育バッシング」が多いです。そうした中で教育関係者は、反論もあまりできず、心を痛めてきました。しかし、大震災で被災した幼児が静かに配給を待ち、与えられた飲み物

を手にしながら「ありがとう」と感謝の言葉を口にする。避難所では小学生が、笑顔でトイレ掃除をする。こうした光景をみると、これまで教育に携わってきた人々は、もう少し自信と誇りを持ってよいのではないのでしょうか。

大震災前、わが国は一人で孤独に生き、死んでも骨を拾ってくれる人が誰もいない「無縁社会」という現象が大きな問題となっていました。ところが、大震災後、「日本の強さは団結力です」「みんなで力を合わせてこの苦難を乗り越えていきましょう」というテレビから流れてくる言葉通り、瞬く間に多額の義援金が寄せられ、被災地には全国各地からボランティアが訪れています。わが国は、自然災害の多い国です。そのうしたなかで、人々は力を合わせて

困難を乗り越えてきました。大震災を契機に、人々は絆の大切さを再認識するようになっていきます。幼稚園でも「絆の教育」をおこないつつ幼児期から人とかわる力をしつかりと養っていく必要があります。

今回の大震災は、安全管理マニュアルの作成と周知、避難訓練の積み重ねの大切さを教えてくれました。日頃から避難訓練をしつかりとやっているところは、迅速に対応でき、被害も少なかったといわれています。しかし、マニュアル通りに行動しながら、尊い命が失われてしまった園や学校もあります。送迎バスが津波に巻き込まれて幼児が死亡した事故で、遺族が幼稚園側の対応に問題があったとして、損害賠償を求め訴えも起こっています。災害時には「とっさの判断」が問われます。

大震災の影響は、今日においても深刻です。特に、原発事故の処理はまだ見通しがたらず、放出された放射能は多方面にわたって人々を不安にさせています。しかし、暗雲たれこめている状況であっても、教育関係者はいたずらに悲観することなく、希望を持って子どもの教育にあたってほしいです。

子どもは「未来の宝」です。教育者がネガティブになると、子どもも不安になりネガティブになります。明るい未来をきり拓く力は育っていきません。大震災をわが国の教育を見直していく契機と捉え、それぞれの立場で、できることを一歩一歩進めていくことです。困難な時こそ希望を持って「未来の宝」を育てていきましょう。

(新潟県立大学教授・人間生活学部長)

## 福島原発事故賠償で中間指針

8月5日、政府の原子力損害賠償紛争審査会は、東京電力福島第一原発事故の賠償範囲や対象を示す「中間指針」を策定しました。これを受けて東京電力も指針の項目は賠償対象とする見通しです

指針は被害者と東電が損害賠償交渉を進めるためのもので、被害者は指針による損害を算定して東電側に請求を行います。「中間指針」は全日私幼連のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。主な項目は次の通りです。

### ●東京電力株式会社福島第一、第二

全日私幼連の義捐金約5億円

### 引き続きご協力をお願いします

全国の私立幼稚園の皆様にご協力いただきました東日本大震災義捐金は、平成23年9月6日現在で5億532万6382円となりました。皆さまからたくさんのご支援を賜りましたことに対しまして心より御礼申し上げます。

甚大な被害を受けた地域や福島第一原発事故の影響を受けている地域では、いまだに復旧、復興の目処が立っておりません。

本連合会では、このような地域への支援を引き続き行なっていくために、本年末（12月25日）まで義捐金活動を継続してまいります。被災者、被災園の復興のために引き続き、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、募金方法等につきましては各都道府県私立幼稚園団体事務局へお問合せください。

原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針

①中間指針の位置づけ②各損害項目に共通する考え方③政府による避難等の指示等に係る損害について

▼検査費用▼避難費用▼一時立入費用▼帰宅費用▼生命・身体的損害▼精神的損害▼営業損害▼就労不能等に伴う損害▼検査費用▼財物価値の喪失又は減少等④政府による航行危険区域等及び飛行禁止区域の設定に係る損害について⑤政府等による農林水産物等の出荷制限指示等に係る損害について⑥その他の政府指示等に係る損害について⑦いわゆる風評被害について⑧いわゆる間接被害について⑨放射線被曝による損害について

### 学校の放射線量低減で

#### 通知・文部科学省

8月26日、文部科学省は「福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について（通知）」「学校の校舎・校庭等の線量低減について（通知）」を福島県及び各都道府県へ発出した。

学校における放射線に対する暫定の考え方が4月19日に示された後、空間線量率が低くなってきたことを受けて、今後の考え方をあらためて示したものです。

学校において児童生徒等が受ける線量の目安として、原則年間1mSv以下、校庭・園庭の空間線量率については毎時1μSv未満を目安とすること等が示されました。

詳しくは4ページをご覧ください。

#### 全日私幼連

#### 東北地区会から御礼

8月18日付で、全日私幼連東北地区会及び宮城県私立幼稚園連合会、福島県全私立幼稚園協会、岩手県私立幼稚園連合会から東日本大震災における被災園支援にかかるお礼状をいただきました。

東日本大震災義捐金にご協力いただいた加盟園の先生方には厚く御礼申し上げます。保護者や教職員の皆様によりしくお伝えくださいますようお願いいたします。

なお、お礼状は3ページに掲載しております。

平成 23 年 8 月 18 日

全日本私立幼稚園連合会

会長 香川 敬 様

各都道府県団体長 様

全日私幼連加盟園長 様

全日私幼連・東北地区会長 武田 正廣

宮城県私立幼稚園連合会長 村山 十五

福島県全私立幼稚園協会会長 関 章信

岩手県私立幼稚園連合会長 坂本 洋

#### 東日本大震災における東北地区会被災園へのご支援お礼について

この度の東日本大震災における、東北地区会被災園への未曾有の被害につき、全日本私立幼稚園連合会をはじめ全国の私立幼稚園教職員、保護者の方々から心温まるお見舞いご支援を賜りましたことを衷心より厚くお礼を申し上げます。

特にも被害甚大であった岩手県、宮城県、福島県の三県は、全日本私立幼稚園連合会災害対策本部からのいち早い多大な義捐金の配分や支援物資のきめ細かい配送をいただき、被災園に対し早期の支援対応ができて、お預かりする幼児の安全を確保する環境に復旧しつつあり、お陰さまでようやく第一学期を終了し夏期休業を迎えることができました。

被災三県の最近の復旧報告によれば、防災復興建築制限区域指定の問題や福島原発放射能汚染等まだまだ未解決対応の課題もあるようですが、今後とも地道に歩み、子どもが健やかに育む環境整備に向け勇気と元気が満ちてきておるようです。これもひとえに皆様方のご支援、ご厚情のたまものです。重ねて感謝申し上げます。

東北地区会といたしましては、これからも一体感を共有し一日も早い災害の復旧と復興のため更に努力することをお誓いし、取り急ぎお礼のご挨拶といたします。

平成23年8月26日

文部科学省

福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について(通知)(抄)

## 2 現状と今後の対応

## (1) 現状

「暫定的考え方」は、平成23年4月以降、夏季休業終了(おおむね8月下旬)までの期間を対象とした暫定的なものであり、この間、「1」に示した対策がなされたところです。これにより、モニタリングを通して放射線量の状況が明らかになるとともに、校庭・園庭の土壌除去等の具体的な手法が示され、それに基づく土壌除去が進んだこと等により、学校が開校されている地域では、既に校庭・園庭において毎時3.8 $\mu$ Sv以上の空間線量率が測定される学校はなくなっています。

一方、今後もICRP勧告が提示している非常事態収束後の参考レベルである年間1~20mSvについて、年間1mSvに向けて低減していく取組を進めていく必要があり、また、原子力災害対策本部では、「除染に関する緊急実施基本方針」(8月26日)(別添2)において、学校だけでなく学校外も含めた生活全般に係る今後の除染に関する基本的な方針を定めるとともに、「市町村村による除染実施ガイドライン」(8月26日)(別添3)において、「暫定的考え方」はその役割を終えたこととされたところです。こうした中、地域でも児童生徒等が多く時間を過ごす学校について線量を低くする努力を続けていくことは重要です。

## (2) 今後の考え方

## ① 学校において児童生徒等が受ける線量と対策の目安

以上のことから、夏季休業終了後、学校において児童生徒等が受ける線量については、原則年間1mSv以下(※3)とし、これを達成するため、校庭・園庭の空間線量率については、児童生徒等の行動パターン(※4)を考慮し、毎時1 $\mu$ Sv未満を目安とします。

なお、仮に毎時1 $\mu$ Svを超えることがあっても、屋外活動を制限する必要はありませんが、除染等の速やかな対策が望ましいと考えられます。

## ② 局所的に線量が高い場所の把握と除染

一方、学校内には、校庭・園庭と比較すると局所的に線量が高い場所も存在しており、今後、合理的にできる限り受けける線量を下げていくとの考え方からすれば、その把握及び除染も課題となっています。

したがって、学校において比較的線量が高いと考えられる場所については、校内を測定して当該場所を特定し、除染したり、除染されるまでの間近づかないように措置することが、児童生徒等がより安全で安心して学校生活を送る上で重要であると考えられます。

このような除染活動は、学校の関係者、地域の住民等によって実施することが可能

であると考えられ、その際、「福島県内(警戒区域及び計画的避難区域を除く)における生活圏の清掃活動(除染)に関する基本的な考え方」(7月15日、原子力災害対策本部)及び「生活空間における放射線低減化対策の手引き」(7月15日、福島県災害対策本部)等は、測定及び除染等を進める上で有益であると考えられます。

なお、このような除染活動等に当たっては、ICRPの「放射線被ばくは、社会的、経済的要因を考慮に入れながら、合理的に達成可能な限り、低く抑えるべきである」(防護の最適化の原則)という考え方を踏まえて実施することが適切です。

## ③ 文部科学省における今後の対応

文部科学省としても、校庭・園庭の土壌に関する線量低減策への財政的支援を行うとともに、学校等における平均的な空間線量率の測定方法や、雨どいや植物の周囲等の局所的に線量が高い場所を把握するための測定方法を記載した「学校等における放射線測定の手引き」を原子力機構とともに作成して公表することに加え、今後、福島県内の学校等において、リアルタイム放射線監視システムを整備することのほか、福島県内と周辺界における可搬型モニタリングポストの設置、福島県内の市町村へのサーベイメーターの配備といったモニタリング体制の強化を図ることとしていますので、「福島県原子力被災者・子ども健康基金」等と併せて活用願います。

以上を踏まえ、各学校の設置者におかれては、児童生徒等が受ける線量について、防護の最適化の原則にのっとり、低くする努力を行っていただくよう、願います。福島県知事、福島県教育委員会教育長及び福島県内に小中高等学校を設置する学校設置会社を所轄する構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の長におかれては、それぞれ所轄の私立学校を設置する学校法人等、域内の市町村教育委員会及び所轄の学校設置会社に対し、本件につき御周知くださるよう併せてお願いします(※5)。

※1 避難区域並びに計画的避難区域及び緊急時避難準備区域に所在する学校については、校舎・校庭等の利用は行わないこととされている。

※2 放射線モニタリングに関する情報については、文部科学省ウェブサイトに最新の結果を公表している。

※3 学校での内部及び外部被ばくを含み、自然放射線による被ばく及び医療被ばくは含まない。また、夏季休業終了後からの数値とする。

※4 学校への通学日数を年間200日、1日当たりの平均滞在時間を6.5時間(うち、屋内4.5時間、屋外2時間)とする。

## OECD 田熊美保氏と懇談

全日私幼連

8月26日、田熊美保氏（OECDパリ本部・教育局教育訓練政策課シニアアナリスト）が全日私幼連事務局に来訪され、香川敬全日私幼連会長と懇談されました。

懇談では、特に幼児教育において公的資金投入を3倍にしたイギリス、韓国の例を取り上げ、国家戦略としての幼児教育を最重要課題に置



▲田熊美保氏（左）と今後の日本の幼児教育について意見交換。

いている各国の幼児教育事情等をご説明いただき、日本の幼児教育の今後の在り方について懇談されました。その後、田熊氏は香川会長とともに党派を超えた幼児教育に造詣の深い国会議員と面会し、日本の幼児教育の今後の在り方について懇談されました。

☆ ☆

田熊氏は今回、8月18・19日開催の全日私幼連関東地区教員研修大会で講師を務められました。また、宮城県南三陸町で被災地のボランティア活動に精力的に参加されるとともに宮城県私立幼稚園連合会村山十五理事長とも面談し、東日本大震災の被害状況、今後の復興について懇談されました。

田熊氏は、今回の被災地訪問について、OECDとしての今後の活動展開に役立てていきたいと語られま

した。

### 学校法人への寄附で Q & A 発出・文部科学省

8月26日、文部科学省は「学校法人に対する個人からの寄附に係る所得税の税額控除制度を適用するため

平成23年度の税制改正により、一定の要件を満たした学校法人に対して個人が寄附を行なった場合、従来の所得控除に加えて寄附者の選択により新たに税額控除の適用を受けられるようになったことを受けたもので、関連の通知、Q & A、申請書類等が発出されています。関連資料等は文部科学省のホームページでご覧いただけます。

### 米・自閉症学会から義捐金

8月31日、グローバルオーティズムアライアンス代表の北原健氏が全日私幼連事務局に来訪され、



▲北原健氏（右）を通じてアメリカからの義捐金をいただく。

香川敬会長と面会しました。今回の来局は、アメリカのオーティズムリサーチ学会（Autism Research Institute）アメリカの自閉症の保護者、医師、有識者等で構成する自閉症団体）が、アメリカの自閉症の問題を抱える保護者等から募った東日本大震災の義捐金を福島県の幼稚園に通う自閉症の子どもたちに役立てていただきたい旨の申し出があり実現したものです。

オーティズムリサーチ学会からの義捐金は全日私幼連、福島県全私立幼稚園協会を通じて自閉症の子どもたちのために役立てられる予定です。

～全日本私立幼稚園PTA連合会のホームページ～

# Webサイト『幼稚園ママ.com』

<http://www.youchienmama.com>

子育てを楽しみながらも、女性としても輝いている幼稚園ママたちの「ママ力(ぢから)」を集結して、一緒に子どもの未来を育みませんか？

『幼稚園ママ.com』では、家庭の中だけではなく、  
いろいろな場面で発揮されている「ママ力」を応援していきます！



## ●お役立ちコンテンツが満載!!

ママのために“ママ”の今がもっと幸せになるように、お野菜や健康の基礎知識、おやつやお弁当レシピ集など、「本当に役立つ情報」や「正しい情報」が満載のコンテンツをお届けしていきます。

## ●投稿お待ちしております!!

幼稚園で、家庭で、地域で頑張っている「ママ力」の一コマを撮って「ママ力・ギャラリー」でご紹介ください。



『幼稚園ママ.com』に使われているシンボルマークは、1988年に幼稚園児と母親をイメージして、手塚治虫さんが描いてくださったものです。カンガルーとひつじの子どもを見守るママカンガルーの温かいまなざしには、いきいきと未来に向かってはたらく子どもたちへの願いが込められています。

### 幼稚園ママ.com サイト運営

【運 営】全日本私立幼稚園PTA連合会  
(事務局)住所:東京都千代田区九段北4-2-25私学会館内  
電 話:03-3237-1080 FAX:03-3263-7038  
E-mail:pta@youchien.com

## 第2回幼児教育実践学会開かれる

大阪府・大阪市

去る8月20日・21日、大阪府大阪市・追手門学院小学校において、(財)全日私幼研究機構の「第2回幼児教育実践学会」が開催され、全国から約430人が参加しました。

開会式では、安家周一(財)全日私幼研究機構副理事長があいさつを述べられました。続いて平成22年度・優秀教員表彰の表彰式が行なわれまし



た。被表彰者は次の通りです。▼竹

中夫規子(徳島県・めぐみ幼稚園) 洞井治(愛知県・レオナ第一幼稚園) 柿崎美智美(山形県・新庄幼稚園) 米山一美(山梨県・大月キリストの

教会幼稚園) 高田憲治(広島県・広

島女学院ケーンズ幼稚園) 船曳明子

(兵庫県・園田学園女子短期大学附

属学が丘幼稚園) 松井裕子(北海道・

北見幼稚園) 井上悦子(東京都・武

蔵野大学附属幼稚園) 角真理子(和

歌山県・さくら幼稚園) 江口世都美

(福岡県・きりん幼稚園) 村上里絵(福

岡県・光沢寺中井幼稚園)

2日目の開会では、追手門学院小

学校の津田克彦学校長からご挨拶い

ただきました。

○1日目/▼基調講演「倉橋惣三と

現代の保育実践課題について」講師：大豆生田啓友・玉川大学教育学部乳

ポジウム「保育力を高める園内研修」

【指定討論】岡健・大妻女子大学家

政学部児童学科教授【研究報告】那

須信樹・中村学園大学短期大学部幼

児保育学科准教授、太田光洋・和洋

女子大学人間・社会学系心理・教育

学研究室教授、濱田尚志・香蘭女子

短期大学保育学科准教授【事例報告】

佐々木敦子・さらさら星幼稚園教諭

【コーディネーター】黒田秀樹(財)

全日私幼研究機構研究研修委員長

○2日目/▼講演「震災復興に向け

て」講師：田中雅道(財)全日私幼研

究機構理事長▼ポスター発表1〜19

▼口頭発表1〜16

第2回幼児教育実践学会において東

日本大震災の義捐金を募りましたと

ころ、参加の皆様から10万6510

円の募金をいただきました。参加の

皆様のご理解・ご協力により多大な

ご支援を賜りましたことに対しまし

て、厚く御礼申し上げます。なお、

この義捐金は8月23日付で全日本私

立幼稚園連合会の「東日本大震災義

捐金」へお渡ししました。

CHAPPY<sup>®</sup>  
10

学校法人会計

2011年2月リリース予定

新登場!!

ネットワーク対応を強化!

会計・減価償却・給与・小口現金のシステム間の  
連動機能の他、経営分析資料の提供を実現しました。

### ネットワーク

インターネットが使える環境なら、どこでも、チャッピー  
をご使用頂けます。会計システムやデータが入っていない  
チャッピーからでも、伝票入力や帳票印刷等を行えます  
※事前設定およびシステム利用料が必要です。

### 経営分析参考資料

会計基準、減価償却、給与計算の各シス  
テムで、経営に関わる参考資料が印刷  
出来るようになりました!

一 開発・販売



株式  
会社

チャイルド社

一 発売元

株式会社 チャイルド本社

## 絵本の中の臨床心理学

### 「教員免許更新講習」こぼれ話



間藤 侑  
新潟大学名誉教授

「教員免許更新講習」が発足し今年で三年目。私は「絵本の中の臨床心理学」というテーマで参加しています。昨年は幼稚園から養護学校・

高校の先生までおられてビックリ。今年は希望者が多くて半分ずつに分け、後半分は十二月とのこと。料理の仕方でも多分違ってきそうです。

ふだん絵本と接している幼稚園の先生なら、絵本を取り出すと安心してのように表情が和らぎ、それだけで話がしやすくなります。絵本は堅苦しい教材などではなく、こちら側（読み手）とあちら側（聴き手）の関係がうまくつながっている時に大きな意味が生まれます。心理学者で児童文学作家の村中李衣さんは、施設入所老人への絵本の読み聞かせというユニークな実践から、一人ひとりの老人の多様な存在感に気付き、その経験を一冊の本にまとめています。

「絵本を読みあう」ということ…「読書

療法」の向こう側とこちら側（ぶどう社）。保育者にもお薦めの一冊です。

老人相手の意表を突かれるようなエピソードだらけですが、面白く読み進めているうちに、自分の持っている固定観念のようなものが突き崩されるかもしれません。幼児教育現場も、本当はそれぞれ個性的な味のある子どもたちなのに、ややもすると保育者側の、いつのまにか積み重ねられた経験的思い込みの中で、自己流の同じパターンで保育しているかもしれない自分を、ふと振り返らせてくれるかもしれません。

さて更新講習受講理由のアンケートには、例年、絵本の選びかた、良い絵本の条件、読み聞かせのポイントなど、教師という立場からの客観的な基準を知りたいなどの理由が大多数ですが、私はそうした期待をあえて無視します。絵本を読み聞かせ

とて無視します。絵本を読み聞かせ

るといふ行為は、読む人と聴く人との、人間同士の一对一の関係の中に大きな意味があることを、ぜひ考えてもらいたいと思うからです。そんな基準は、在るようで無く、無いようである、とも言えるでしょうか。

昨年は教室に入った途端、難しそうな顔をした中年男性が何人か目につきちよつと緊張しました。考えてみれば免許更新対象者ですから、絵本大好きな新卒教師などいません。とつさに一冊の絵本を取り出します。その本は講習の少し前、大学の先生たち数人の「絵本を読む会」で紹介され、全員がすぐはまった絵本でした。この絵本のことには昨年十月号にも紹介しましたが、そこには書名を書いていません。

さて最初のこの絵本の読み聞かせは大成功でした。あの怖い顔の先生まで、手をたたき大口を開けて笑っています。こうしてその後は、自然

に「絵本の中の『臨床心理学』」の世界に入り込むことができたようです。

でもこの絵本はちよつと不思議な作品です。①何の仕掛けも隠されていないのに間違いなく仕掛け絵本。②独りで読んでみてもあまり楽しくなく大勢集まるほど楽しくなる。③大人は最初面白がっても「もう一度」とせがむことは無いが、逆に幼児は最初はそれほどでなくても、やがて「もう一回」合唱が始まる。

私は市内のある幼稚園で、保護者だけと年長児だけに読み聞かせてみましたが、両者の反応は期待どおりでした。今年の講習会でも、幸い受講者の誰もまだ知らず、予想通り盛り上がりました。その絵本は「まるまるまるのほん」（ポプラ社）です。使ったのはこの他「あらしのひ」「じごくのラーメンや」「ボロ」「ルリユールおじさん」「うんちしたのほだれよ」「ぬまばばさまのさけづくり」など二十冊ほど。絵本は幼児から大人まで、楽しく、哀しく、胸キュンで、バカバカしく、どこからでも人間の心に触れ、考えさせられ、語りあえる宝庫です。（つづく）

れ、語りあえる宝庫です。（つづく）

## 平成23年度学校基本調査速報

平成23年度学校基本調査速報（平成23年5月1日現在）が8月に公表されました。幼稚園関係の概要は次のとおりです。

なお、速報値には、東日本大震災

の被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県の数値は含まれていないため、平成22年度の数値においても同様に含まれていない数値とした。

幼稚園数は、昨年度より85園減（公立76園減、私立9園減）の1万2502園となっています。

在園者数は、4967人減の152万6279人となっています。

私立幼稚園の在園者数は、昨年度から1654人増加し125万997人でした。これを年齢別に見ると、5歳児については1万8347人減の42万7143人、4歳児については、1万1433人増の43万8066人、3歳児については、8568人増の38万5788人となっています。

5歳児就園率（小学校第一学年の児童数に占める幼稚園修了者数の割合）は、全国平均で対前年度比0.6%減の55.3%となっています。

設置者別の幼稚園数の割合は、国立が0.4%、公立が37.2%、私立が62.4%となっています。

また、在園者数の割合は、国立が0.4%、公立が17.7%、私立が82.0%となっています。

教員数（本務者）は、28人減の10万4944人となり、本務教員1人当たりの園児数は、昨年度より0.1人減の14.5人となっています。

満3歳児については入園状況を把握するため、3歳児の在園者数を「本年度入園」と「前年度間入園」に分けて、更に「本年度入園」を調査日までに満3歳児入園した者と3歳児入園した者に分けて調査しています。

これにより、満3歳児として入園し、引き続き在園している園児数（昨年度の満3歳児入園数の実績に近い数）をまとめています。

調査結果によると平成23年度においては、「前年度間入園」は3万8590人で、本年度3歳児在園者数の9.0%でした。また、平成23年度においては、4月2日～5月1日の間に4699人の園児が満3歳児入園しています。

（幼児教育課）

### 児童福祉週間標語募集

厚生労働省では、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日から11日までの一週間で児童福祉週間と定め、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業等を行っています。同省では、この児童福祉週間の平成24年度の標語を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kodomoniraizaidan.or.jp/>



財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・監修

## 研修ハンドブック

### 内容

- 「保育者としての資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園幼児教育研究機構作成)のカテゴリー別研修記録
- 研修履歴一覧表 など

### 資料

- 改訂 幼稚園教育要領
- 改訂 保育所保育指針
- 保育者としての資質向上研修俯瞰図 など

どのような研修に参加したかを記録し、  
教員としての  
資質向上を  
サポートします。

B6判 112ページ  
定価700円(税込)

お申し込みは株式会社世界文化社および世界文化社(ワンダー)販売会社まで

世界文化社

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL:03(3262)5123(営業部)

# ○平成23年度学校基本調査速報概要

平成23年度振興資料集①

## 幼稚園の現状

区 分	全 体		国 立		公 立		私 立		
	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	
幼稚園数	12,502	100	46	0.4	4,653	37.2	7,803	62.4	
学級数	67,137	100	218	0.3	13,861	20.6	53,058	79.0	
在 園 児 数	3歳児	428,163	100	1,224	0.3	41,151	9.6	385,788	90.1
	うち 満3歳児	38,590	100	-	-	334	0.9	38,256	99.1
	4歳児	543,907	100	2,193	0.4	103,648	19.1	438,066	80.5
	5歳児	554,209	100	2,248	0.4	124,818	22.5	427,143	77.1
	計	1,526,279	100	5,665	0.4	269,617	17.7	1,250,997	82.0
本務教員数	104,944	100	338	0.3	22,265	21.2	82,341	78.5	

出典：文部科学省「平成23年度学校基本調査速報」（平成23年5月1日現在）

※ 上記速報には、東日本大震災の被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県の数値は含まれていない。

## 幼稚園の園数等の推移

区 分	幼稚園数 (A)	うち私立 幼稚園数	在 園 児 数					教員数 (本務者) (C)	本務教員 1人あたり 在園児数 (B/C)	幼 稚 園 修了者数	小学校第一 学年児童数 に対する 幼稚園修了 者数の比率
			計 (B)	3歳児	4歳児	5歳児	うち 私立幼稚園 の在園児数				
年度	園	園	人	人	人	人	人	人	人	人	%
昭和30	5,426	3,501	643,683	11,980	115,947	515,756	402,728	24,983	25.8	500,141	20.1
40	8,551	5,382	1,137,733	46,488	393,415	697,830	836,953	45,193	25.2	666,658	41.3
50	13,106	7,796	2,292,591	131,002	943,457	1,218,132	1,721,870	85,680	26.8	1,209,152	64.0
60	15,220	8,903	2,067,951	210,662	821,145	1,036,144	1,556,881	98,455	21.0	1,032,892	63.6
平成元	15,080	8,793	2,037,614	259,051	816,143	962,420	1,576,909	100,407	20.3	961,842	64.0
2	15,076	8,785	2,007,964	275,201	795,056	937,707	1,568,141	100,935	19.9	961,842	64.0
3	15,041	8,769	1,977,611	300,242	774,127	903,242	1,560,274	101,493	19.5	937,880	64.0
4	15,006	8,737	1,948,868	323,776	753,856	871,236	1,551,042	102,279	19.1	903,948	64.1
5	14,958	8,704	1,907,110	322,763	741,745	842,602	1,520,513	102,828	18.5	872,061	63.8
6	14,901	8,657	1,852,183	326,610	703,245	822,328	1,474,661	103,014	18.0	841,978	63.5
7	14,856	8,639	1,808,432	341,515	689,807	777,110	1,439,992	102,992	17.6	822,209	63.2
8	14,790	8,601	1,798,051	346,675	693,668	757,708	1,431,056	103,518	17.4	777,675	62.8
9	14,690	8,556	1,789,523	350,401	682,115	757,007	1,422,090	103,839	17.2	785,467	62.5
10	14,603	8,524	1,786,129	371,308	673,089	741,732	1,419,452	104,687	17.1	757,660	62.3
11	14,527	8,497	1,778,286	358,093	691,828	728,365	1,410,817	105,048	16.9	741,362	61.6
12	14,451	8,479	1,773,682	370,237	656,806	746,639	1,402,942	106,067	16.7	728,334	61.1
13	14,375	8,443	1,753,422	381,798	664,732	706,892	1,385,641	106,703	16.4	747,154	60.6
14	14,279	8,410	1,769,096	398,626	657,316	713,154	1,399,011	108,051	16.4	707,642	59.9
15	14,174	8,389	1,760,494	400,243	658,631	701,620	1,392,640	108,822	16.2	712,935	59.3
16	14,061	8,363	1,753,393	410,228	642,804	700,361	1,389,997	109,806	16.0	702,255	58.9
17	13,949	8,354	1,738,766	420,343	637,554	680,869	1,383,249	110,393	15.8	700,745	58.4
18	13,835	8,317	1,726,520	423,770	629,348	673,402	1,377,688	110,807	15.6	682,082	57.7
19	13,723	8,292	1,705,402	428,928	613,556	662,918	1,367,723	111,239	15.3	672,925	57.2
20	13,626	8,276	1,674,172	427,148	602,112	644,912	1,349,247	111,228	15.0	662,911	56.7
21	13,516	8,261	1,630,336	415,991	584,228	630,117	1,318,006	110,692	14.7	644,771	56.4
22	12,587	7,812	1,531,246	418,984	531,633	580,629	1,249,343	104,972	14.6	599,307	55.9
23	12,502	7,803	1,526,279	428,163	543,907	554,209	1,250,997	104,944	14.5	580,722	55.3

注1) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成23年度は「速報値」。3歳児には3歳児入園を含む。

注2) 数値は、各年度5月1日現在。ただし、東日本大震災の被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県の数値を除く。

### 3歳児教育の普及状況の推移

区 分	幼稚園数				在園児数				3歳児在園児数			
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
昭和60年度	15,220	48	6,269	8,903	2,067,951	6,609	504,461	1,556,881	210,662	988	4,645	205,029
61	15,189	48	6,267	8,874	2,018,523	6,593	481,109	1,530,821	222,677	985	4,974	216,718
62	15,156	48	6,263	8,845	2,016,224	6,600	470,454	1,539,170	232,398	999	5,563	225,836
63	15,115	48	6,251	8,816	2,041,820	6,606	467,611	1,567,603	246,770	1,000	5,594	240,176
平成元年度	15,080	48	6,239	8,793	2,037,614	6,557	454,148	1,576,909	259,051	980	5,738	252,333
2	15,076	48	6,243	8,785	2,007,964	6,581	433,242	1,568,141	275,201	981	5,625	268,595
3	15,041	48	6,224	8,769	1,977,611	6,630	410,707	1,560,274	300,242	983	6,096	293,163
4	15,006	49	6,220	8,737	1,948,868	6,613	391,213	1,551,042	323,776	1,032	7,037	315,707
5	14,958	49	6,205	8,704	1,907,110	6,740	379,857	1,520,513	322,763	1,102	8,424	313,237
6	14,901	49	6,195	8,657	1,852,183	6,786	370,736	1,474,661	326,610	1,119	10,838	314,653
7	14,856	49	6,168	8,639	1,808,432	6,778	361,662	1,439,992	341,515	1,120	13,236	327,159
8	14,790	49	6,140	8,601	1,798,051	6,827	360,168	1,431,056	346,675	1,124	15,784	329,767
9	14,690	49	6,085	8,556	1,789,523	6,803	360,630	1,422,090	350,401	1,132	17,957	331,312
10	14,603	49	6,030	8,524	1,786,129	6,823	359,854	1,419,452	371,308	1,167	21,339	348,802
11	14,527	49	5,981	8,497	1,778,286	6,911	360,558	1,410,817	358,093	1,181	23,804	333,108
12	14,451	49	5,923	8,479	1,773,682	6,889	363,851	1,402,942	370,237	1,207	28,131	340,899
13	14,375	49	5,883	8,443	1,753,422	6,819	360,962	1,385,641	381,798	1,188	33,270	347,340
14	14,279	49	5,820	8,410	1,769,096	6,804	363,281	1,399,011	398,626	1,203	36,867	360,556
15	14,174	49	5,736	8,389	1,760,494	6,718	361,136	1,392,640	400,243	1,229	39,307	359,707
16	14,061	49	5,649	8,363	1,753,393	6,626	356,770	1,389,997	410,228	1,210	41,311	367,707
17	13,949	49	5,546	8,354	1,738,766	6,572	348,945	1,383,249	420,343	1,217	42,800	376,326
18	13,835	49	5,469	8,317	1,726,520	6,531	342,301	1,377,688	423,770	1,237	43,082	379,451
19	13,723	49	5,382	8,292	1,705,402	6,457	331,222	1,367,723	428,928	1,270	42,987	384,677
20	13,626	49	5,301	8,276	1,674,172	6,374	318,551	1,349,247	427,148	1,265	42,702	383,181
21	13,516	49	5,206	8,261	1,630,336	6,315	306,015	1,318,006	415,991	1,278	42,104	372,609
22	12,587	46	4,729	7,812	1,531,246	5,838	276,065	1,249,343	418,984	1,226	40,538	377,220
23	12,502	46	4,653	7,803	1,526,279	5,665	269,617	1,250,997	428,163	1,224	41,151	385,788

注1) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成23年度は「速報値」。3歳児には3歳児入園を含む。  
 注2) 数値は、各年度5月1日現在。ただし、東日本大震災の被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県の数値を除く。

**園の安全を  
考える！**

園経営で予想されるあらゆるリスクに対応し、お答えします

# こんなときどうする？

子どもたちが安全で幸せな園生活をおくるための危機管理ブック



園生活編



労務編



資料CD-ROM付  
(for Windows)

**弁護士解説付き**      **わかりやすい内容！**



事例

→

解決の  
流れ

→

弁護士の  
解説

+

資料

セット定価：13,650円（本体13,000円）ケース入り      16-11223  
 セット内容：〈園生活編〉B5判 328ページ / 〈労務編〉B5判 92ページ  
 〈資料CD-ROM〉for Windows

◎お申し込みは貴園にお伺いしています 本社特約代理店  
 もしくは学研幼児教育事業部 03-3726-8711まで



# 幼稚園の現状

(平成23年5月1日現在「学校基本調査速報」)

在園児数(2)		教員数(本務者)				小学校第一学年 児童数(A)	幼稚園修了者数 (H23.3)(B)	就園率 (B/A)
4歳	5歳	計	国立	公立	私立			
23,853	24,072	4,973	10	517	4,446	42,783	25,025	58.5%
3,130	3,231	792	7	46	739	11,024	3,458	31.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,856	2,943	714	10	110	594	7,921	3,143	39.7%
4,103	4,111	994	8	85	901	9,756	4,438	45.5%
-	-	-	-	-	-	-	-	-
14,934	14,861	2,766	8	862	1,896	26,272	15,819	60.2%
10,662	10,733	2,498	8	27	2,463	17,703	10,989	62.1%
7,487	7,506	1,835	9	531	1,295	17,986	8,139	45.3%
41,903	40,976	7,158	5	330	6,823	62,555	42,404	67.8%
35,073	34,531	5,520	7	789	4,724	54,403	36,384	66.9%
60,553	57,677	10,702	21	865	9,816	96,374	60,042	62.3%
52,587	51,821	8,348	0	266	8,082	77,674	53,918	69.4%
5,330	5,208	1,415	10	241	1,164	19,445	5,561	28.6%
2,555	2,518	638	7	137	494	9,327	2,695	28.9%
2,719	2,660	699	8	33	658	10,331	2,782	26.9%
1,617	2,124	494	8	179	307	7,290	2,305	31.6%
2,324	2,398	605	6	26	573	7,376	2,446	33.2%
4,456	4,365	1,041	7	83	951	19,166	4,384	22.9%
7,534	8,401	1,833	0	534	1,299	18,749	8,974	47.9%
21,076	20,556	4,377	7	1,681	2,689	33,653	21,770	64.7%
33,250	32,054	5,631	7	723	4,901	69,575	33,378	48.0%
7,176	7,601	1,639	7	913	719	16,608	8,121	48.9%
7,478	7,278	1,672	8	1,403	261	13,841	7,797	56.3%
10,378	10,510	2,216	7	359	1,850	21,823	10,793	49.5%
44,742	44,649	7,605	9	1,920	5,676	76,055	47,314	62.2%
27,413	29,589	4,876	15	2,003	2,858	49,929	31,470	63.0%
6,761	6,934	1,451	18	990	443	12,044	7,201	59.8%
2,901	3,069	726	0	282	444	8,137	3,172	39.0%
1,435	1,587	439	8	45	386	5,116	1,721	33.6%
1,755	1,736	529	7	449	73	6,001	1,957	32.6%
7,926	8,032	1,536	8	1,174	354	17,245	8,467	49.1%
11,784	11,903	2,279	13	360	1,906	25,540	12,296	48.1%
5,792	5,802	1,230	8	207	1,015	11,934	6,042	50.6%
3,297	3,904	789	9	656	124	6,345	4,172	65.8%
5,056	5,144	1,174	7	788	379	9,099	5,550	61.0%
6,318	6,256	1,358	8	322	1,028	11,956	6,495	54.3%
1,577	1,502	435	8	125	302	5,878	1,571	26.7%
23,098	22,751	4,660	5	306	4,349	44,827	23,451	52.3%
3,221	3,218	739	6	71	662	7,922	3,299	41.6%
5,126	5,262	1,228	7	140	1,081	12,358	5,479	44.3%
5,433	5,479	1,115	7	185	923	16,274	5,718	35.1%
3,983	5,841	991	8	383	600	10,030	6,213	61.9%
3,392	3,580	776	8	44	724	10,237	3,848	37.6%
6,837	7,077	1,341	4	239	1,098	15,142	7,344	48.5%
3,026	12,759	1,107	0	836	271	16,406	13,177	80.3%
543,907	554,209	104,944	338	22,265	82,341	1,050,110	580,722	55.3%

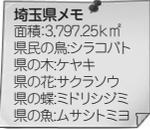
※ 上記速報には、東日本大震災の被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県の数値は含まれていない。

都道府県別

区 分	幼稚園数				在園児数 (1)				在園児数 (2)		
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	3 歳	左記のうち満3歳児入園者(内数)	
1 北海道	557	2	80	475	65,213	127	3,860	61,226	17,288	1,913	
2 青森	129	1	16	112	8,835	97	298	8,440	2,474	705	
3 岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 秋田	94	1	22	71	8,120	136	1,171	6,813	2,321	507	
6 山形	113	1	22	90	11,363	98	941	10,324	3,149	625	
7 福島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8 茨城	376	1	173	202	39,829	148	10,727	28,954	10,034	993	
9 栃木	198	1	5	192	31,299	158	349	30,792	9,904	1,942	
10 群馬	211	1	84	126	21,948	138	5,953	15,857	6,955	1,131	
11 埼玉	629	1	62	566	115,024	90	4,638	110,296	32,145	836	
12 千葉	579	1	148	430	96,398	160	10,820	85,418	26,794	617	
13 東京	1,051	2	195	854	171,774	396	13,632	157,746	53,544	1,330	
14 神奈川	731	0	57	674	142,873	0	4,088	138,785	38,465	569	
15 新潟	157	2	42	113	15,573	133	2,710	12,730	5,035	934	
16 富山	93	1	33	59	7,411	117	1,611	5,683	2,338	549	
17 石川	75	1	7	67	8,122	134	237	7,751	2,743	771	
18 福井	125	1	91	33	5,259	103	2,205	2,951	1,518	477	
19 山梨	74	1	4	69	6,972	97	317	6,558	2,250	271	
20 長野	118	1	12	105	13,168	102	799	12,267	4,347	390	
21 岐阜	188	0	82	106	23,174	0	4,586	18,588	7,239	1,189	
22 静岡	515	1	271	243	62,107	133	21,581	40,393	20,475	1,673	
23 愛知	522	1	92	429	97,925	152	10,865	86,908	32,621	2,656	
24 三重	259	1	196	62	20,051	143	9,197	10,711	5,274	657	
25 滋賀	193	1	163	29	19,416	159	15,781	3,476	4,660	76	
26 京都	228	1	66	161	30,099	139	4,291	25,669	9,211	764	
27 大阪	785	1	349	435	120,604	147	26,166	94,291	31,213	1,207	
28 兵庫	724	2	475	247	70,819	263	25,307	45,249	13,817	876	
29 奈良	204	2	159	43	18,084	293	11,614	6,177	4,389	165	
30 和歌山	111	0	65	46	8,500	0	2,466	6,034	2,530	454	
31 鳥取	39	1	10	28	4,344	80	301	3,963	1,322	401	
32 島根	116	1	98	17	4,762	74	4,034	654	1,271	84	
33 岡山	329	1	295	33	19,659	139	14,117	5,403	3,701	369	
34 広島	320	2	110	208	33,651	208	4,118	29,325	9,964	1,187	
35 山口	203	1	60	142	16,364	115	2,254	13,995	4,770	944	
36 徳島	214	1	201	12	7,718	146	6,170	1,402	517	36	
37 香川	178	1	141	36	14,495	158	8,986	5,351	4,295	418	
38 愛媛	185	1	77	107	18,275	145	3,477	14,653	5,701	1,077	
39 高知	59	1	27	31	4,396	134	1,034	3,228	1,317	210	
40 福岡	494	1	62	431	65,464	74	3,962	61,428	19,615	3,674	
41 佐賀	109	1	12	96	9,225	83	875	8,267	2,786	811	
42 長崎	181	1	48	132	13,829	142	1,691	11,996	3,441	1,022	
43 熊本	148	1	35	112	15,878	118	2,406	13,354	4,966	1,123	
44 大分	222	1	148	73	12,350	158	3,733	8,459	2,526	359	
45 宮崎	136	1	17	118	9,820	140	444	9,236	2,848	979	
46 鹿児島	254	1	100	153	18,983	88	2,790	16,105	5,069	1,306	
47 沖縄	276	0	241	35	17,106	0	13,015	4,091	1,321	313	
総計(全国平均)	12,502	46	4,653	7,803	1,526,279	5,665	269,617	1,250,997	428,163	38,590	

※満3歳児入園者は、平成22年度間に入園した満3歳児の人数である。  
 ※出典：平成23年度学校基本調査速報（平成23年5月1日現在）

## 親心を育てる取り組みを埼玉から



7月27日、子ども・子育て新システムの中間とりまとめが報告されました。本連合会では、昨年6月の「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」が発表されて以来、幼保一体化のこともさることながら、子どもを親から引き離し子育てを社会に丸投げするようなこの制度案に大きな危惧をいただいています。

というのも、親子にまつわる悲惨な事件が毎日のように新聞を賑わしている昨今、その原因の一つには親子関係の希薄さがあるのではないかと考えるからです。今時のお母さんは携帯電話片手にメールを打ちながらおっぱいをあげるの当たり前のようにですが、それはどう見ても普通ではありません。お母さんが赤ちゃんを見つめ合ってお乳を飲ませることとはとても大切なことです。そこで本連合会では、以前から県下21会場で行なってきた保護者対象の「子育てフォーラム」に加え、平成20年度

からは親学推進協会の理事長の高橋史郎先生の協力をいただき、設置者・園長・現場教員を対象とした「親学実践研究講座」を開講しています。この研究講座は、保護者に信頼され、保護者の心に寄り添い親心を呼び起こすことができる教員を育成することを目的に「親学の基本」から

始まる全8講座を2日間で行ないます。その内容は毎年同じということではなく、その時々々のタイムリーな話題（今年は放射能について）を取り上げるなどバラエティに富み、昨年受講した人が今年も受講するという、いわゆるリピーターもいて毎年盛況を博しています。全講座を受講した方には「親学推進員」の認定証が授与されます。

こうした取り組みが親心を呼び起こす第一歩となることと確信し、全国に広がることを期待いたします。  
（全埼玉私立幼稚園連合会副会長、久喜市・菖蒲幼稚園／四ツ金雅彦）

岡山県における幼稚園教育の現状と課題に基づき、本県の幼稚園教育に関する検討委員会を公私立幼稚園長・市町村教育委員長・保護者代表、学識経験者等で立ち上げ、議論が交わされました。

特に幼稚園教育の重要性から、振興・充実に係る内容については、3年保育や預かり保育の推進、保育所との連携及び、小学校との円滑な連携を保つための充実、また教員の資質向上や専門性、特別支援教育、家庭や地域社会との連携など、幼稚園教育の今日的課題を、市町村ともかわりを深めながら推進することが示されました。

本県では、県南と県北の地方により幼児を取り巻く環境も違い、県北地域では、すでに認定こども園の施設も整い、働く保護者の子育て支援に行政の動きが反映されています。

本県は、私立幼稚園が33園に対し、公立幼稚園が300園と圧倒的に多

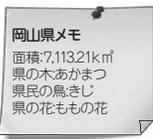
く、また、私立は預かり保育や3年保育は全園で運営していますが、公立幼稚園ではほとんど運営されていません。しかしこの振興計画では、公立幼稚園に推進を促しています。

この幼稚園教育振興計画によって、推進の勢いに乗れば、私立幼稚園にとっては何らかの影響を被ることになります。そのことを十分認識しながら、各園それぞれの建学の精神に基づき、より特色を生かしながら先進的な教育を自信を持って遂行しなければなりません。

現在、国が法案として提案しようとしている幼保一体化の新しい子育て支援制度の動向をしっかりと見据えながら、今後の園経営に当たっては、今以上にお互いの智慧を出し合い、私立幼稚園がより元気で本県の幼児教育をリードしていくことを自負しなければと強く感じています。

（岡山県私立幼稚園連盟副理事長、倉敷市・海星幼稚園／中井美代子）

## 「新岡山幼稚園教育振興計画」の策定



岡山県からのおたより

## 編集後記

暑い夏、節電の夏休みでしたが、サッカーの女子ワールドカップで初優勝した「なでしこジャパン」と全国高校野球選手権大会で球児の皆さんが、全国の多くの人々に、困難に立ち向かう勇気とさわやかな感動を与えてくれた、2011年の特別な夏でした◆両者とも被災地の復興を支援し、勇気を与えたいと願い「がんばれ！日本」のエールを送りました。8月号で全日私幼連に集まった義捐金を宮城県と岩手県の私立幼稚園連合会の意向で災害遺児の教育基金に寄付されたとの記事を読みました。被災されているにも関わらず、もつと困難な子どもたちのために立てようとの東北の方々の深く深い温かいお心に感動しました◆二期期も私たちは「こどもがまんなか」の観点から、高校球児のように全力でひたむきに子どもと本気で向き合い、子どもたちのために愛情豊かな最善の教育環境を目指して努力していきますましよう！（調査広報委員会編集委員・梅澤真理）

新刊

## 50の 脳と心を育てる あそび

脳科学者が提唱する、0歳からの子どもの脳がめきめき育つあそび集。

人の脳の働きである7分野の知性（言語、論理数学、絵画、音楽、運動、空間、社会）ごとに、年齢別にイラストで紹介します。



子どもの脳がめきめき育つ!

森田勝之 著  
 (十文字学園女子大学教授)  
 定価1,890円(税込)  
 24×19cm/120ページ  
 発行・発売 チャイルド本社



子どもが直接触れるものだから、より優しくソフトになりました。

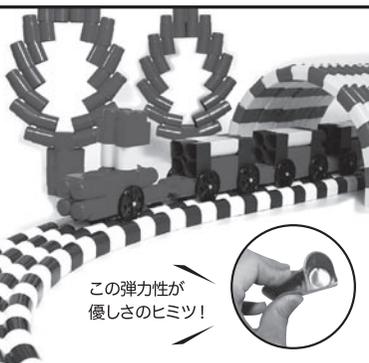
新登場 安全への配慮も万全です。

### Bブロックソフト

HDF0215 セット ¥40,950(税込)

HDF0216 バラ ¥21,000(税込)

※詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。



この弾力性が  
優しさのヒミツ!

#### Bブロックソフトの特長

割れにくくなり耐久性・安全性がさらにアップ

落としても大きな音がしません。

柔らかくなったことにより、曲線造形もつくれるようになりました。

ジャクエツ

月刊保育誌



理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

園の未来をデザインする

## 保育ナビ

定価 950円(税込) B5判 80ページ

#### 10月号の主な内容

- 巻頭特集「子どもと『エコ』を！」
- 国の動きを読む！研究者の目〈文科省編〉子ども指針の方向
- 〈厚労省編〉完全な幼保一元化の難しさ
- 今すぐ使えるスピーチアイデア  
運動会 ほか

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで  
 03-5395-6608 営業総括部

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9  
<http://www.froebel-kan.co.jp>

キンダーブックの  
**フーベル館**

## 平成23年度（第8回）免許状更新講習の認定一覧

- 必修領域「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
大阪府 大阪市	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深める事を目指す。	岩立京子（東京学芸大学教育学部教授） 小田豊（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所理事長）	12時間	平成23年12月20日 ～ 平成23年12月21日	100人	平23-81340-00736号

- 選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
山形県 山形市	本講習は、幼稚園教諭を対象とした講習で、保育現場での質を高めることを目的とし、幼児期の発達特性への理解と保育のあり方について深めることを目的とする。	栗野桂子（東原幼稚園園長、東北文教大学非常勤講師） 細井秀明（東北文教大学教授）	6時間	平成23年11月5日	50人	平23-81340-56392号
福島県 福島市	幼稚園教諭を受講対象者とする。幼稚園における特別支援教育について、子どもをめぐる環境の変化や心の変化について理解を深め、保育の理論と実践について考察する。	上原文（神奈川県立保健福祉大学特別研究員・非常勤講師）	6時間	平成23年12月27日	40人	平23-81340-56391号
神奈川県 横浜市	①特別な支援が必要な子についての理解をはじめ、教室内での支援の仕方、講義と簡単なワークショップを通して学ぶ②保育所における保育実践や幼稚園就園前の0歳児～2歳児の発達過程を知ることを通して、幼稚園教育の意義を再確認する。	Toth Gabor（相模女子大学学芸学部准教授） 金元 あゆみ（相模女子大学学芸学部専任講師）	6時間	平成23年11月19日	80人	平23-81340-56390号
福岡県 福岡市	幼稚園教諭として学ぶべき2つの要点として、「幼児の発達特性の理解」及び「環境による教育の理解」について、具体的な事例に沿いながら、子どもたちを育む豊かな心と、質の高い教諭養成につながるような講義を行いたい。	富田 昌平（中国学園大学准教授） 笠間 浩幸（同志社女子大学教授）	6時間	平成23年11月12日	100人	平23-81340-56393号



**新刊!**  
**幼児期から児童期への教育**  
国立教育政策研究所  
教育課程研究センター／編  
A5判 定価 本体600円（税別）  
幼稚園及び保育所と小学校との連携を深めるために、国立教育政策研究所が研究を進め、具体的な実践事例を中心にわかりやすくまとめた指導資料集。



幼稚園における  
道徳性の芽生えを  
培うための事例集  
文部科学省／編  
A5判 定価 本体130円（税別）  
乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方や指導計画作成の手がかり、幼児の姿と教師の関わりなどについて述べた書。

**幼稚園における 道徳性の芽生えを培うための事例集**

文部科学省／編  
A5判 定価 本体130円（税別）

乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方や指導計画作成の手がかり、幼児の姿と教師の関わりなどについて述べた書。



**ひかりのくに株式会社**

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151 代表  
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111 代表